

My Stars 通信

No.45

June 2017

マイスターズ登録者の皆様いかがお過ごしでしょうか。『MyStars通信』45号ができましたのでお送りします。2017年4月末現在の登録者数は9539名です。



珍客「ユキウサギ（夏毛）」

天文台のある「みさき台公園」は観光地なので、多くの方が訪れますが、ヒト以外にもいろいろな動物が訪れます。冬はエゾシカやキタキツネ、ユキウサギなどの足跡がそこら中にあります。空にはオオワシやオジロワシなどが毎日のように見られます。雪が解けるとエゾシカは山に戻り、見る機会は少なくなります。キタキツネは一年中見られますが、夏になると子ギツネを連れているのを見ることがあります。巣立ち直後のキツネの子はキツネ色ではなく灰色なのでタヌキに似ています。ユキウサギの冬毛は真っ白ですが、夏になると茶色に変わって、真っ白のかわいい姿とはずいぶん違って見えます。ウサギは警戒心が強くなかなか人前に姿を見せてくれませんが、このウサギは天文台の中庭に来ました。星を見たかったのかなぁ・・・

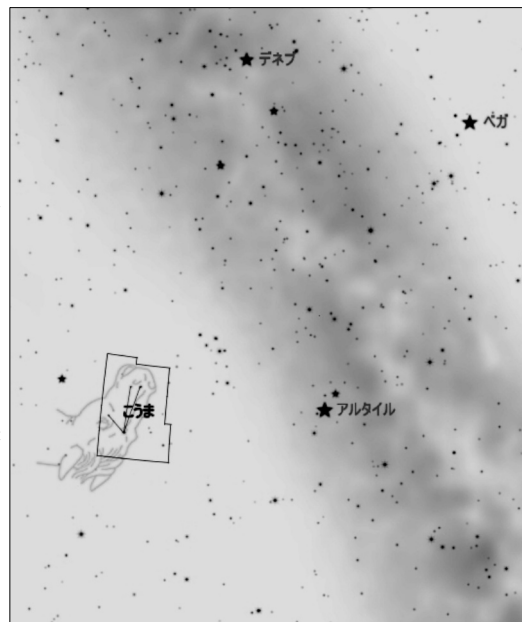
綺羅星・星座ガイド

星座の数は88ありますが、有名な星座や明るい星でできた星座は注目されますが、中にはあまり目立たず注目もされない星座もあります。今回はそんな星座に日の目を当てましょう。

◎小馬（こうま）座

ペガサス座とわし座の間にある小さな星座で、星座絵では馬の頭だけが描かれています。こうま座を設定したのはギリシャの天文学者ヒッパルコスで、プトレマイオスが48星座に加えました。こうま座のとなりに天馬ペガサス座がありますが、関連はありません。

小馬座は小さな星座で、面積は南十字座に次いで2番目に小さく、肉眼で見える星は10個ほどしかありません。ペガサスの鼻先にあるイプシロン星の西で、ゴチャゴチャと星が集まったように見えるいるか座との間に、細長い三角形あります。特に目を引く天体もなくさみしいですが、一度見つけてやってください。



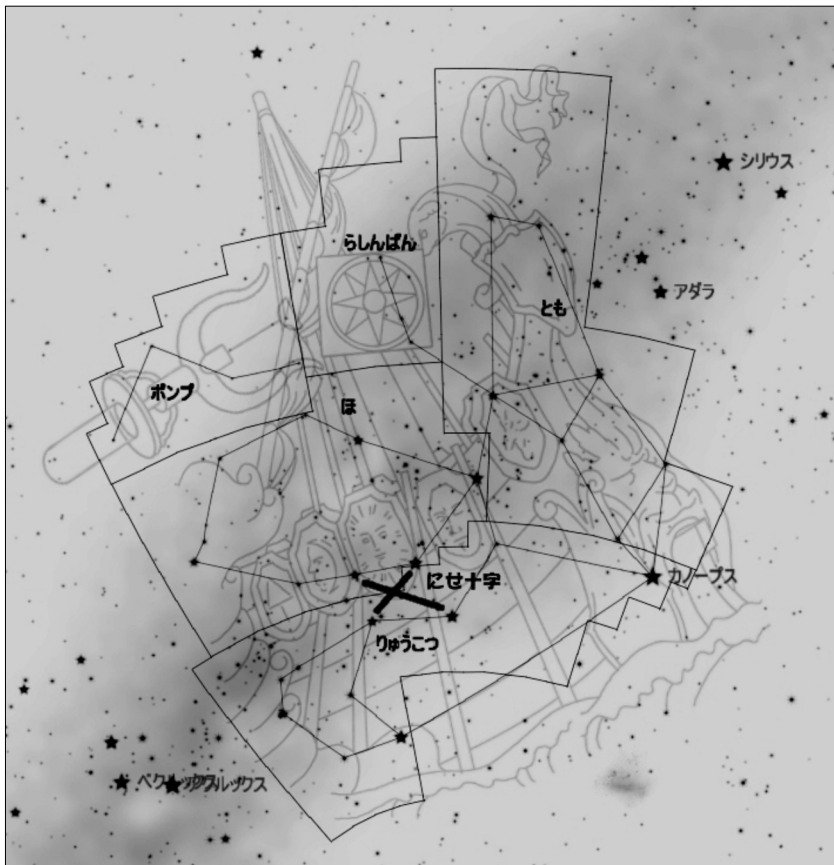
◎艫（とも）、帆（ほ）、竜骨（りゅうこつ）、羅針盤（らしんばん）座

おおいぬ座の南東にある星座で、元はアルゴ座という巨大な船の星座でしたが、あまりにも大きすぎると言うことで四つに分割されました。全体で見ると船の姿がわかりますが、それぞれで見るとイメージがわいてきません。

この中で一番明るい星はりゅうこつ座にあるカノープスという星で、シリウスに次いで全天で2番目に明るい星です。この星は南に低いため関東より北では見ることはできません。神奈川県では水平線ぎりぎりに見えますが、同じ緯度の京都府では、山に遮られるので見ることはできないでしょう。

ほ座とりゅうこつ座の星で作る十字星があります。りゅうこつ座の東に南十字星（南十字座）がありますが、形が似ているため間違われることがあると言います。南十字座は1等星が2個もあるのですが、二

十字は2等星と3等星なので少し暗いのですが、南十字より少し大きいので目立ってしまうのです。



アルゴ座は天の川の中にあるため、星雲や星団が多く小型の望遠鏡でもいろいろ見えて楽しいですが、少し大きめの双眼鏡で見るとあちこちに星の集まり（星団）が見られます。

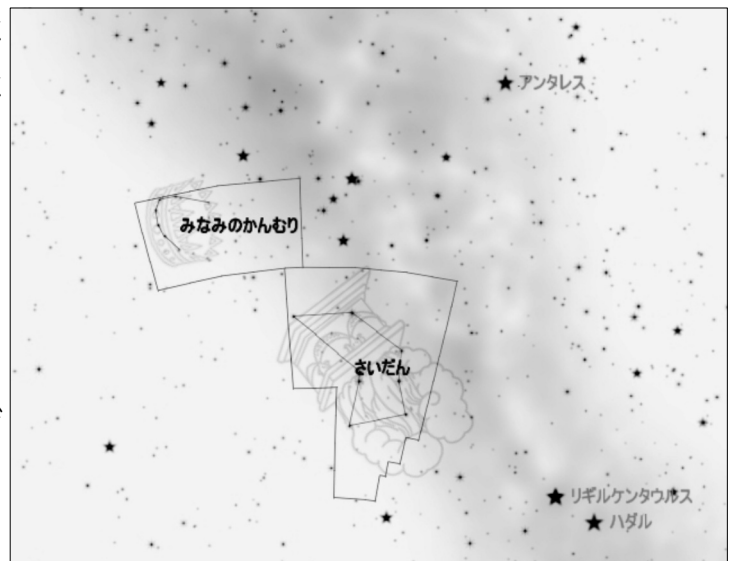
◎ポンプ座

18世紀にフランスの天文学者ラカーユが作った星座です。このポンプは水をくむポンプではなく、真空ポンプを星座にしたものです。うみへび座の南にあり、アルゴ座に接していますが、アルゴ座とは関係ありません。

明るい星は4等星が一つあるだけで、他は5等星以下の暗い星で構成されています。特別な天体もなくちょっとさみしいですが、探してみてください。

◎祭壇（さいだん）座

さそり座の南にある星座です。さいだん座はさそり座の南に隣接しています。北海道からはほとんど見えないので話題にもなりませんが、奄美大島あたりでほぼ全体が見えてきます。



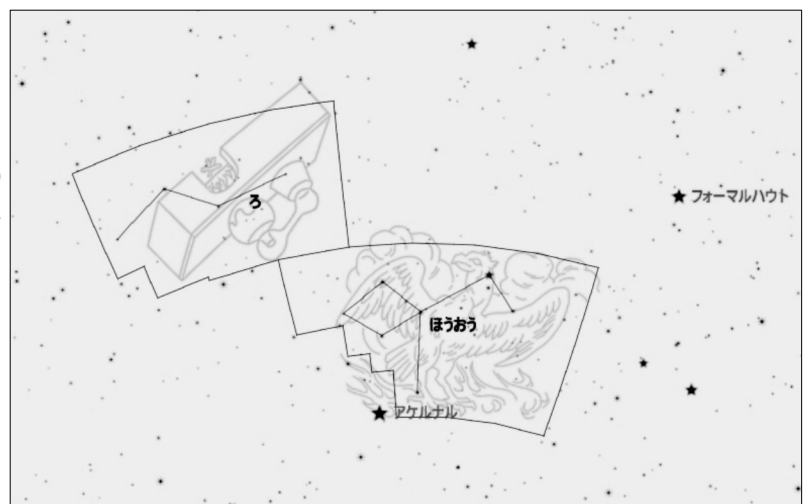
◎南冠（みなみのかんむり）座

いて座の南にある星座で、北海道でもぎりぎりで全体が見えます。星座の起源は古く、ギリシャ時代から知られていました。うしかい座とヘルクレス座の間に宝飾されたかんむり座がありますが、こちらは草花を編んで作られた冠です。

明るい星がないため見つけにくいですが、よく見れば細長い丸い星列が見つかるでしょう。

◎炉（ろ）座

オリオン座の南西、みなみのうお座の1等星フォーマルハウトの東にある星座で、18世紀にラカーユが設定した星座です。これは溶鉱炉の炉ではなく、化学実験用の炉です。星座絵を見るとなぜか逆さまに描かれています。ろ座の星は肉眼で見えるものは25個ほどありますが、4等星が1つと5等星が2つあるだけで、見て楽しくなる星は残念ながらありません。



◎鳳凰（ほうおう）座

ほうおう座はフォーマルハウトの南東にある星座で、エリダヌス座のアケルナルという1等星に接しています。17世紀にドイツのバイアー設定した星座で、500年の寿命が尽きると自ら炎に飛

び込み、その灰の中から再びよみがえるという不死鳥（フェニックス）です。北海道では上3分の1ほどしか見えませんが、九州南部では全体が見えます。鳳凰の星は2等星が1つ、3等星が2つありますが、低いので空気が濁っていると見つけにくいこともあります。

星図はステラナビゲーター10（アストロアーツ）にて作成しています。

◎My Stars system 登録セットを少し変更

昨年5月から登録セットをリニューアルしましたが、今年4月に小幅な変更を加えました。変更内容は以下の2点です。

- ★登録証を収納するケースに外箱を付けた
- ★IDプレートの色を10色から選べるようにした



外箱（表）

IDプレートは、従来の蛍光色（緑、オレンジ、ピンク、紫）に赤を追加。また、青系の色がなかったため非蛍光色ですが、サマーグリーン、黄、ラベンダー、ライトブルー、スカイブルーを加え、全10色としました。

綺羅星列伝

今回は4遍ご覧ください。皆さんの星物語よろしくお願いします。お寄せいただいた物語はしょさんべつ天文台にあります。いつでも閲覧できますのでお立ち寄りの際はご一読ください。

星の名前： **To You**

3人子どもがほしい。
お母さんはずっとそう思っていました。
まだおなかの中にもいないけれど
産まれてからでは家族全員同じ星座に揃わないかも・・・
同じ星座の中でも遠く離れてしまうかも・・・
全員同じ場所に居れるようにお星様だけ先に
神様から頂きました。
せっかちな、気のはやいお母さんからのプレゼントです。



星の名前： **Ryusei**

かわいい かわいい 竜-生。
いつまでもお母ちゃんのそばにいて～。
お母ちゃんから離れないように隣の星に
来てもらいました。だってかわいくてしょうがないんだも～ん。

大きくなったらどんな大人になるでしょう。
どこへ行ってもいいから、自分の夢を追いかけてなさい。
楽しい人生を送りなさい。
竜生が巣立ってどこかに行ってしまうと考えたと
さみしくなっちゃうけれど、竜生のお星様は
お母ちゃんの隣にあるも～ん。絶対離れないも～ん。
愛してるよ～。竜生。
幸せになってね。



母より

星の名前： **Kulala**

かわいい かわいい クララ。

クララが生まれた年に家族全員のお星様を
神様から頂きました。

クララが産まれた時「女の子」とわかって
とーっても嬉しかったよ。

友達みたいな親子でいたいな。

姉妹みたいな親子でいたいな。

一緒にいて幸せに思える親子でいたいな。

クララにとって世界一のお母さんになりたいな。

とにかくいつまでも仲良しでいたいな。

せっかちでドジでマヌケで怖いお母さんかもしれないけど

クララのことは大好きだよ。

かわいくてかわいくてしょうがないよ～。

空の上ではかた時も離さないぞ～。

愛してるよ～。クララ。

幸せになってね～。



母より

星の名前： **Akihiro**

もしかして離婚？

そんな時期に登録しました。

竜生と産まれたばかりのクララは母子家庭の子どもになったら・・・

たとえ離ればなれになったとしても、竜生とクララが幸せに思えるように、登録しました。

それに自分だけ仲間はずれなんてイヤでしょ？

仲間に入れてあげる。（最初は登録する気はなかったけれど）

竜生とクララにとってはとても良い父親です。

私（奥さん）とはどのようになっていくでしょう。

いつまでも皆で仲良く暮らしていけますように・・・

という願いを込めて。



こちら情報室

○天文情報（6月～11月）

流星

●ペルセウス座流星群（7/20～8/20）

毎年たくさんの流星が見られる“三大流星群”の一つで、今年の極大は8月13日04時ころと予想されています。今年は満月から下弦の月があるため、好条件とは言えませんが、明るい流星も多いのでそれなりに見られるでしょう。。

●オリオン座流星群（10/10～10/25）

極大は21日から22日にかけてで、新月ころなので月明かりはありません。ハレー彗星に伴う流星群ですが、ハレー彗星はまだ遠く離れています。そのため多くは期待できませんが、夜中から明け方に見られます。

●おうし座流星群（10/15～11/30）

長い期間見られますが数は多くありません。二つの流星群からなり一南群が11月5日ころ、北群が11月12日ころ極大になります。南群は満月前後の月あるので北群の方が見やすいでしょう。

●しし座流星群（11/10～11/20）

18日に極大になります。新月で月明かりがなく好条件です。母彗星のテンペル-タットル彗星は太陽から最も遠い遠地点を過ぎたばかりなので、多くは期待できませんが見てみましょう。

彗星

●ジョンソン彗星

5月から6月にかけて地球に近づき6等級で見えると予想されています。5月はうしかい座に、6月はうしかい座からおとめ座にあります。双眼鏡で見やすいでしょう。



日食・月食・星食

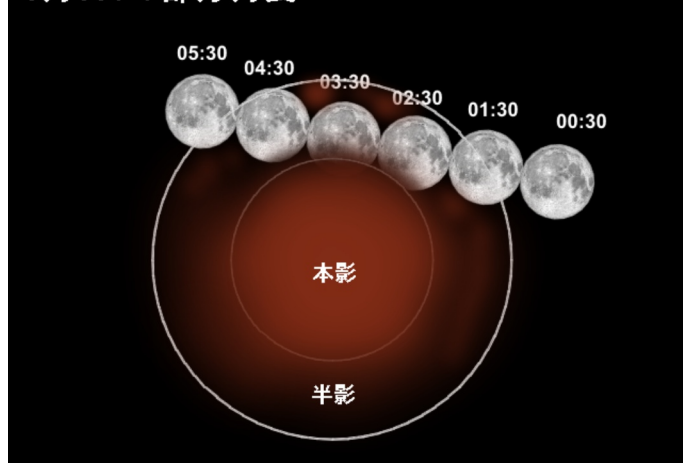
●日食はありません。

●月食は、8月8日未明に全国で部分月食（月の直径の22%が欠ける）が見られます。

●アルデバラン食：7月20日、10月10日、12月3日に見られますが、7月20日は日中で午前中、10月10日は新潟-福島より北に地方で夜中から明け方、12月3日は北海道北部のみで見られます。

●9月19日の朝、九州以南で水星食が見られます。日の出後で太陽に近いので見るのは難しいでしょう。

8月8日の部分月食



●11月11日の深夜、しし座の1等星レグルスの食が九州以北で見られます。

惑星

●水星：9月19日は明け方の東空で、7月30日、11月24日は夕方の西空で最大離隔となり見やすくなります。

●金星：6月3日に明け方の空で最大離角になり、その後徐々に遠ざかり小さくなってきます。

●火星：7月28日に合（太陽の向こう側）になるため、しばらく観望の対象になりません。次の接近は2018年7月です。

●木星：おとめ座にあり9月まで見られます。

●土星：6月15日に地球に近づき10月まで見られます。環の傾きが最も大きくなっています。

●天王星：10月20日に地球に近づきます。望遠鏡で小さな丸にみえます。

●海王星：19月5日に地球に近づきます。望遠鏡でも普通の星と変わりません。

■その他の天文現象

- ・8月21日に北米で皆既日食が見られます。
- ・9月18日の明け方、月・金星・レグルス・火星・水星が集合。
- ・10月6日、明け方の東空で火星と金星が大接近。



[連絡事項]

住所・氏名が変更になりましたらご一報ください。星物語はいつでも募集しています。郵便、E-mailどちらでも受け付けますので、お気軽にどうぞ。

「My Stars通信」の送付について、登録番号9541までの方は次号よりホームページ上でご覧ください。なお、インターネット利用環境のない方、すでに郵送希望のお申し出をいただいている方につきましては、今後とも郵送することで考えております。今後も郵送希望者にはご一報いただきたくお願いします。

[編集後記]

今年も穏やかな新年を迎えました。全国的に想定外の大雪になったところもありますが、初山別ではむしろ少なめでした。冬としては日差しも多くあたたかい春を迎えるかと思っていたら、北風が冷たく雪解けも予想より遅くなりました。地球温暖化の影響か桜の開花も少しずつ早くなり、ゴールデンウィーク中に開花しました。この夏も猛暑や豪雨をはじめ、気象災害にご注意ください。

編集・発行

天文台ホームページ

E-Mail

しょさんべつ天文台 〒078-4431 北海道苫前郡初山別村字豊岬153-7

URL=<http://www.vill.shosanbetsu.lg.jp/shtenmon/>

教育委員会

kyoui.syakyou@vill.shosanbetsu.lg.jp

しょさんべつ天文台 tenmon@arens.or.jp